



for シニアドライバー
Scene.A
運転補助の
頼れる相棒

「加齢、どんと来い！」

【特集】

for シニアドライバー
Scene.B
視界確保の
お助けグッズ



for シニアドライバー
Scene.C
楽ちん操作で
充実ドライブ

シルバー アシスト プログラム

for シニアパッセンジャー
Extra.
乗せる気遣い、
おもてなし

安心快適 お助けグッズ トライアル

誰にでも、いつかは必ず訪れる老い。老化による体力の低下は、運転にも少なからず影響をおよぼす。何かとネガティブなイメージが伴う「加齢＝老化」現象だが、適切なグッズを使うことでドライブの助けになる。そんなアシストプログラムを提案していきたい。

体力面の衰えは カーグッズで補える！

老化は一般的に、50歳代以降に発現するという。とはいえ老化のスピードには個人差があり、実際には40歳代から体力の低下を感じるケースが多い。筋力の低下は関節の可動範囲を狭くし、姿勢が悪くなる。視力と聴力の低下は判断能力を鈍らせる。物忘れがひどくなる。知能障害を伴い、日常生活に混乱をきたす。近年、高齢者ドライバーによるアクセルとブレーキの踏み間違えや高速道路の逆走など、痛ましい事故が増えているのは、その混乱が起因している。

を認めたくないし、自分では気づきにくい。しかし加齢とともに、必ず老化は進んでいるという事実を、肝に銘じていただきたい。たとえばプロのレーシングドライバーでも、40歳代半ばを過ぎてなお第一線で活躍できているのは少数だ。もちろん、スピードレンジはるかに高い彼らと一般ドライバーでは、次元が違う話ではある。でも運転技術に長け、身体を鍛え続けてきたアスリートでも加齢には勝てないのだから、一般人である我々は老化にもっと向き合わなければならない。

踏み間違えや高速道路の逆走など、痛ましい事故が増えているのは、その混乱が起因している。人間とは厄介なもので、気持ちは若いままにあるから、衰えがためなのだから、そして体力面で衰えた部分を、クルマ側で補ってくれるカーグッズがあることを知ってほしい。次項からは、シーンに応じた適切なアシストアイテムを紹介していく。それらを導入し、カーライフを長く楽しもう！